

「フッ化物洗口について」

～その⑦ 保育園・学校等での実施の前に～



フッ化物洗口は、個人で実施する場合と保育園・幼稚園・学校等において、集団で実施する場合があります。集団で実施する場合は、多くの関係者の理解と合意が必要となります。以下の手順に従い、事前に十分な説明や、準備を行い、フッ化物洗口を円滑に実施できるようにしましょう。

1 町村（役場）内におけるフッ化物洗口に対する理解と実施への意思統一

まずは、実施する町村（役場）内で、フッ化物洗口に対する理解を深め、実施への意思統一を図り、事業を実施するための予算の確保や、関係者（学校医・学校歯科医・学校薬剤師など）に協力を依頼する等の必要があります。



2 実際にフッ化物洗口を行う施設における理解の促進と体制づくり

フッ化物洗口を実際に実施する保育園や学校の職員に対して、フッ化物洗口に関する基本的知識や実施方法等について職員向け研修を実施します。また、実施上の課題を十分検討し、実施に向けての体制づくりに努めます。



3 保護者や本人への説明

フッ化物洗口に対して不安を持っている保護者もいますので、正しい知識を得ることができるように、説明会を実施します。更に、理解を深め安心して取り組めるように、保護者会や園だより、保健だより等も活用しましょう。

4 参加の希望確認と洗口しない人への配慮

参加の希望の有無を文書で確認します。また、フッ化物洗口を希望しない人に対しては、水での洗口実施等の配慮も必要ですので、事前に保護者とよく話し合しましょう。

5 技術的な準備～「ぶくぶくうがい」と「吐き出す」練習～

フッ化物洗口を安全に行うために、あらかじめ「ぶくぶくうがい」と「吐き出す」練習を行い、正しくできるかを確認しておきましょう。



園医（歯科）や学校歯科医に十分相談しながら、関係者の理解を深め、実施に向けての準備を進めていきましょう。